

議員全員協議会での意見に対する対応

項 目	意 見	回 答	理 由
<p>下野市で今後も子育てをしたいと思う保護者の割合 (健康増進課)</p>	<p>基準値と目標値が同じであるが、少しでも上げようという努力はしないのか。 (H29の実績96.9%)</p>	<p>目標値を97.0%とする。</p>	<p>乳幼児健診の内容の見直し等を図り、今後も下野市で子育てをしたいと思う保護者の割合の増加を目指す。</p>
<p>自主防災組織設置数 (安全安心課)</p>	<p>8組織から目標15組織は少ないように思う。もう少し多くできないか。災害が多く、全国的にも自主防災組織が見直されている。</p>	<p>修正なし</p>	<p>自主防災組織を設置するためには、地域住民の自主防災組織への理解と協力が重要であり、自治会とは別の組織として取りまとめる会長が中心となり、副会長や各役員の選出、活動に参加する構成員一人ひとりの役割分担、また、設置後の活動方針などについても決定し、運営していくこととなる。</p> <p>自治会長や役員等からの設立に関する相談は毎年数件あるものの、前述のような自治会内における合意形成等に相応の時間を要している。そのため設置までには至っておらず、設置数が伸び悩んでいるのが現状となっていることを踏まえ、当面の目標数値として設定しているところである。</p> <p>なお、自主防災組織は一つの自治会単位ではなく複数の自治会と合同により設置する手段もあることから、設立に関する相談があった際には、このような事例も含めながら、自主防災組織の設置増に向けた支援・助言等を実施していく。</p>

28頁 ②高齢者が元気に暮らせる体制づくりの「◆具体的な施策・事業」の前に次のように加える。

また、家族介護者(ケアラー)と要介護者、家族介護者を取り巻く地域社会環境が大きく変貌する中、新たな視点での家族介護者支援施策・事業の推進が急務となっています。これまでは、家族介護者の「介護ストレスの緩和」、「地域での孤立防止」、「介護ノウハウの習得支援」、「地域見守りネットワーク支援」等家族介護力の維持を目標としていましたが、今後は、要介護者と共に家族介護者にも同等に相談支援の対象として関わり、「介護離職の防止」、「社会参加の継続維持」、「心身の健康維持・充実」等の視点を加え、家族介護者の生活・人生の向上を目指し、家族介護支援の充実に図ります。

追加内容は、厚生労働省が平成30年3月に作成した「家族介護者支援マニュアル」に記載されているものになります。

ケアラー支援・ヤングケアラー支援
(高齢福祉課・社会福祉課)

介護者支援の施策の充実を盛り込んでいただきたい。(家族介護支援だけでは限定的・狭すぎる)
ケアラー支援。ヤングケアラーといわれる方にも注目しなければ。医療的ケアが必要な子の介護・障がい者児の介護支援の施策を盛り込んでほしい。

28項③障がい者(児)とともに生きる環境づくり本文を下記のとおり修正

障がい者(児)が地域で自立した生活を送ることができる環境づくりを推進し、障がいのある人の相談支援体制、日常生活や地域生活の支援等の充実を図るため、障害福祉サービス事業所だけでなく保健・医療・福祉・教育といった様々な関係機関との連携強化を推進します。また、精神通院、育成医療、更生医療などの自立支援医療の給付や重度心身障がい者医療費助成を引き続き実施します。

障がいがある児童については、個々の障がいの状況や特性に応じた適切な療育や保護者への総合的な相談対応を行うとともに、保育所(園)やこども園、幼稚園及び学校関係との包括的な連携による切れ目ない支援の充実を図ります。特に医療的ケアが必要な児童の支援体制を強化するため、医療的ケア児の保護者も参画する協議の場を活用し、ケアを担う保護者の支援を推進します。

障がいのある人が不当な差別的取扱を受けることがないよう合理的な配慮をしていくとともに、下野市障がい者福祉計画に基づき、障がいのある人もない人もともに生きる環境づくりの実現を目指します。

第5期下野市障がい者福祉計画(通称:しもつけしハートフルプラン)に基づく本市の最新の障がい福祉行政の方針を反映し、全体的に加除修正を行った。
特に全国的にも課題となっている医療的ケア児の支援については、協議の場を活用して支援充実に向けて取り組んでいる。

<p>デマンドバス利用者数 (安全安心課)</p>	<p>今後地域公共交通網形成計画を策定するにあたり、地域公共交通のあり方も検討課題になると思われる。項目の説明欄はこのままで、項目欄は「地域公共交通の利用者数」とはできないか。</p>	<p>修正なし</p>	<p>変更した場合、民間事業者運用の鉄道、路線バス、タクシー等や、1市2町広域連携バスの利用者数は含めないため、これらは地域公共交通ではないのかと指摘される懸念がある。</p>
<p>貝塚古墳出土の埴輪等の重要文化財指定と記載があるが</p>	<p>下記のとおり修正する</p> <p>文化遺産は、古から未来へつなぐ本市の重要な宝であり、引き続き整備を推進するとともに、重要文化財甲塚古墳出土埴輪等の修復作業を進め展示収蔵施設として、しもつけ風土記の丘資料館の改修整備を進めます。 また、地域間交流においては国内の様々な分野において交流を推進するとともに、国際交流や多文化共生の相互理解を一層推進するため国際感覚豊かな人材を育成します。</p>		